

ごあいさつ » GREETING



TOMAS CUP 横浜大会
大会会長

小川 直樹

本年も、株式会社リソー教育様のご厚意によりトーマスカップ横浜大会を開催させて頂く事となりました。

また、出場チームの保護者様、指導者様、関係各位皆様の温かいご支援とご協力により、今大会で11回目を迎える事ができ、大変喜ばしく、また大会をお支えいただいております皆様に心より感謝いたします。

本年は4年に一度のオリンピックがフランスのパリで開催され、日本のバスケットボール競技も男子、女子とも自力でオリンピックへ出場する事ができました。

男子、女子ともに日本代表選手たちの懸命な熱い戦いが、皆様の心に焼きついていることと思います。

まだまだ、世界のバスケットボールから学ばべきことがたくさんあると感じる内容でしたが、日本を代表して競技の素晴らしさを表現してくれた選手たちに拍手を送らせていただくとともに、いまバスケットボール競技と一生懸命に向き合っている選手達へ大きな希望と勇気を与えてくれた事と思います。

私たち大会実行委員会は、子供たちの成長における地域サポートとして、バスケットボール競技を通じて、集団行動の大切さ、仲間の大切さ、学びからの発見の楽しさ、協力をしてくれる方々への感謝の気持ちを伝えられたらと思っております。

そして、仲間と一緒にひとつの目標に向かい、共に努力する心の強さと、協力して助け合う協調性を身につけてもらいたいと願っております。

選手の皆さん、この大会は、皆さんを応援する様々な人たちの協力と支援によって開催されております。

大好きなバスケットボールをみんなと楽しめる環境がある事に感謝し、成功や失敗にとらわれず、共に練習を重ねてきた仲間と全力で競技に取り組んでください。

結びになりますが、特別協賛の株式会社リソー教育様、各チーム保護者様、指導者様、大会関係各位皆様、多くの皆様のご理解とご協力の中、この素晴らしい大会が開催できる事に深く感謝の意を申しあげさせていただくとともに、選手の皆さんの健闘を心より祈念し、開催の挨拶とさせていただきます。



株式会社リソー教育
代表取締役社長

天坊 真彦

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、横浜バスケットボールU12大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で11回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後の大会ともいえるこのイベントを、このような形で毎年応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加に至るまでの練習、トレーニングを通じて、技術の上達や体力の向上だけでなく、チームワークやフェアプレーの精神、スポーツマンシップや相手を尊重する気持ち、勝利の喜びや負けたときの悔しさ、思いやりや友情といったこれから生きていくうえでとても大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台上で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。勉強ももちろん大切ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

日本のバスケットボール界は現在B.LEAGUEを中心にとても盛り上がっているようです。そしてそこから世界に羽ばたいている選手たちも数多くいます。NBAへの挑戦を本格的に進めている選手や、すでに現地で活躍している選手など、もしかしたらそれは皆さんの将来の姿かもしれません。今日の今の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さん自身がチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。